

2024年3月期 決算の概要

2024年5月10日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

証券コード 7327

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

2024年3月期 主なポイント



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

第二次中期経営計画

銀行合併・新銀行誕生後

合併の成果をあげる新たなステージへ

2021年
4月

中期経営計画
最終年度

2024年
3月



2024年3月期



FG連結当期純利益は、業績予想を上回り、かつ前年比でも増益

- ✓ グループ一丸となって3大シナジー効果（合併・グループ・TSUBASA）の最大発揮に取り組み第二次中期経営計画最終年度のFG連結当期純利益目標を達成



2024年3月期の1株当たり配当金（年間）は前年比+25円

- ✓ 当期の業績を鑑み期末配当は当初予想の70円から+5円増配となる75円



2025年3月期のFG連結当期純利益（予想）は230億円（前年比+17億円）

- ✓ 新・中期経営計画「第三次中期経営計画」のもと「グループ経営の深化・探索」に取り組む
- ✓ 株主還元方針を変更し（2024年5月）、1株当たり配当金は原則として累進的とし、配当性向は、第三次中期経営計画期間中に35%程度を目指す

2024年3月期決算

FG連結当期純利益

FG連結 (億円)

177



2023年3月期

212

201

業績予想
(2023/5公表)

2024年3月期

前年比

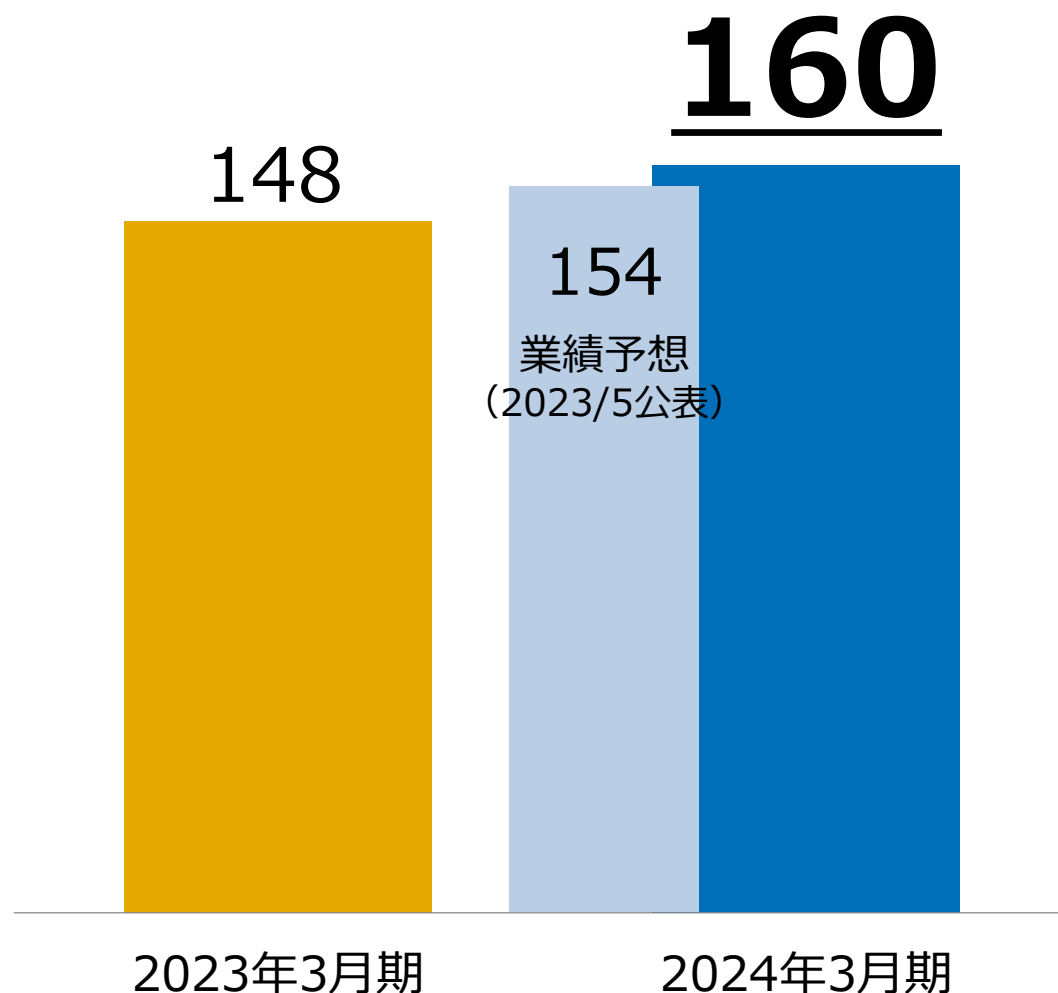
+ 34億円
(+ 19.3%)

業績予想比

+ 11億円
(+ 5.4%)

部門別 当期純利益の状況

銀行単体 (億円)



前年比

+ 12億円
(+ 8.1%)

業績予想比

+ 6億円
(+ 4.2%)

部門別 当期純利益の状況

グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の
親会社株主に帰属する当期純利益の合計

28



2023年3月期

36



2024年3月期

前年比

+7億円
(+27.6%)

証券事業

前年比+4億円 (+72.6%)

- － マーケット動向を捉えたコンサルティング提案の実践や多様なニーズへの対応に向けた商品の拡充などを進め増益

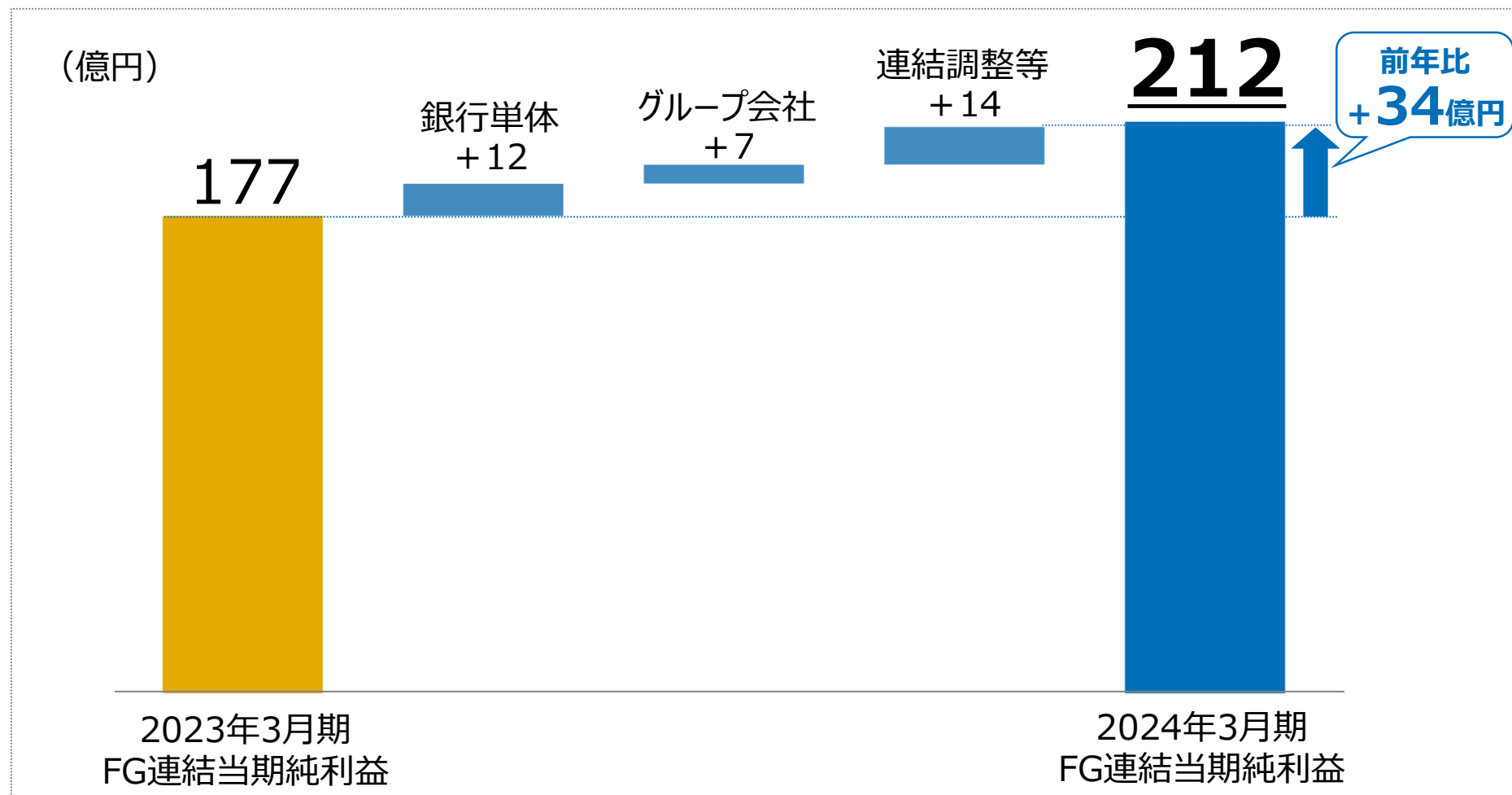
リース事業

前年比+3億円 (+142.5%)

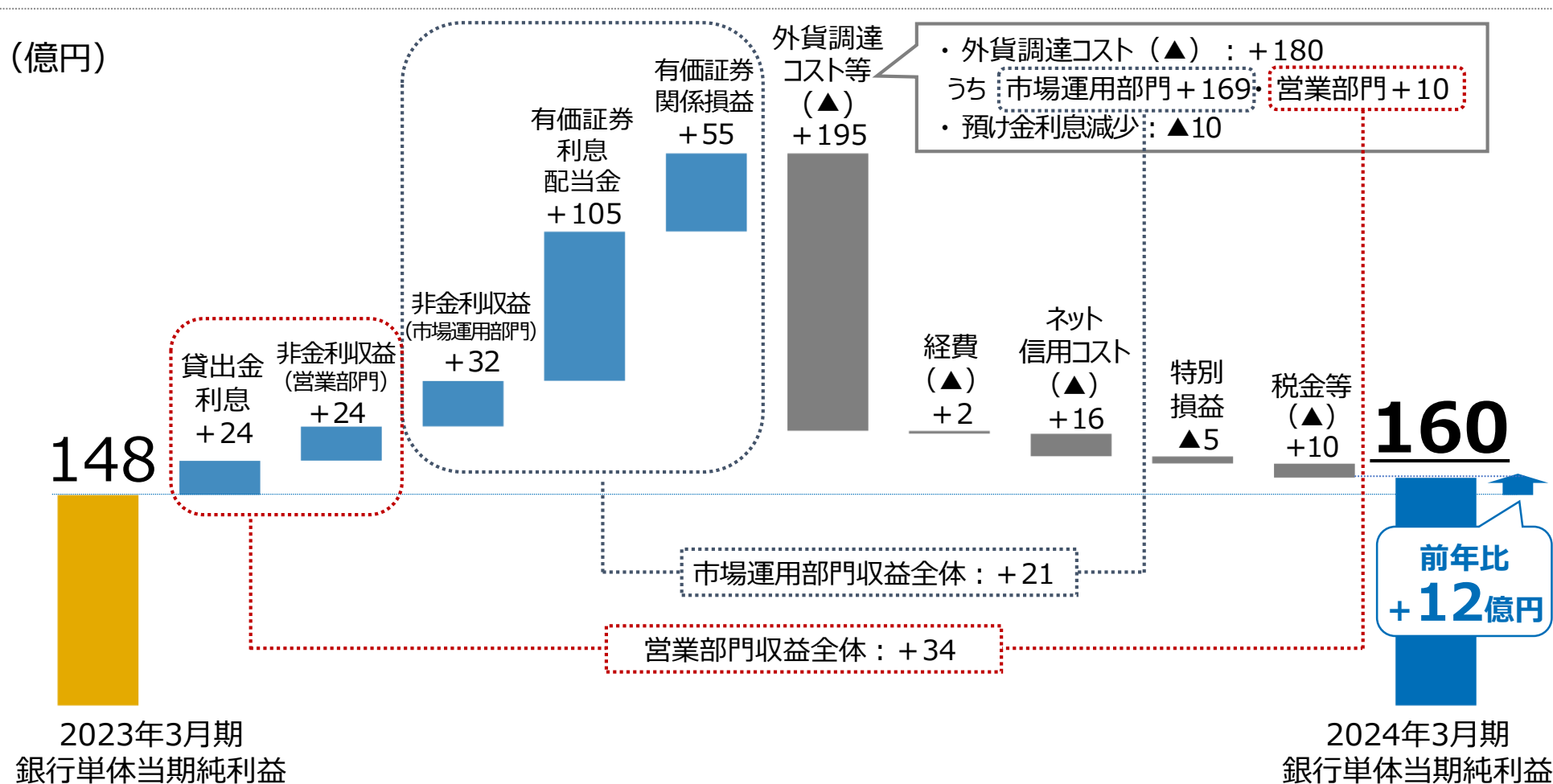
- － 銀行紹介案件の増加等によるリース資産残高の伸長や信用コストの減少などにより増益

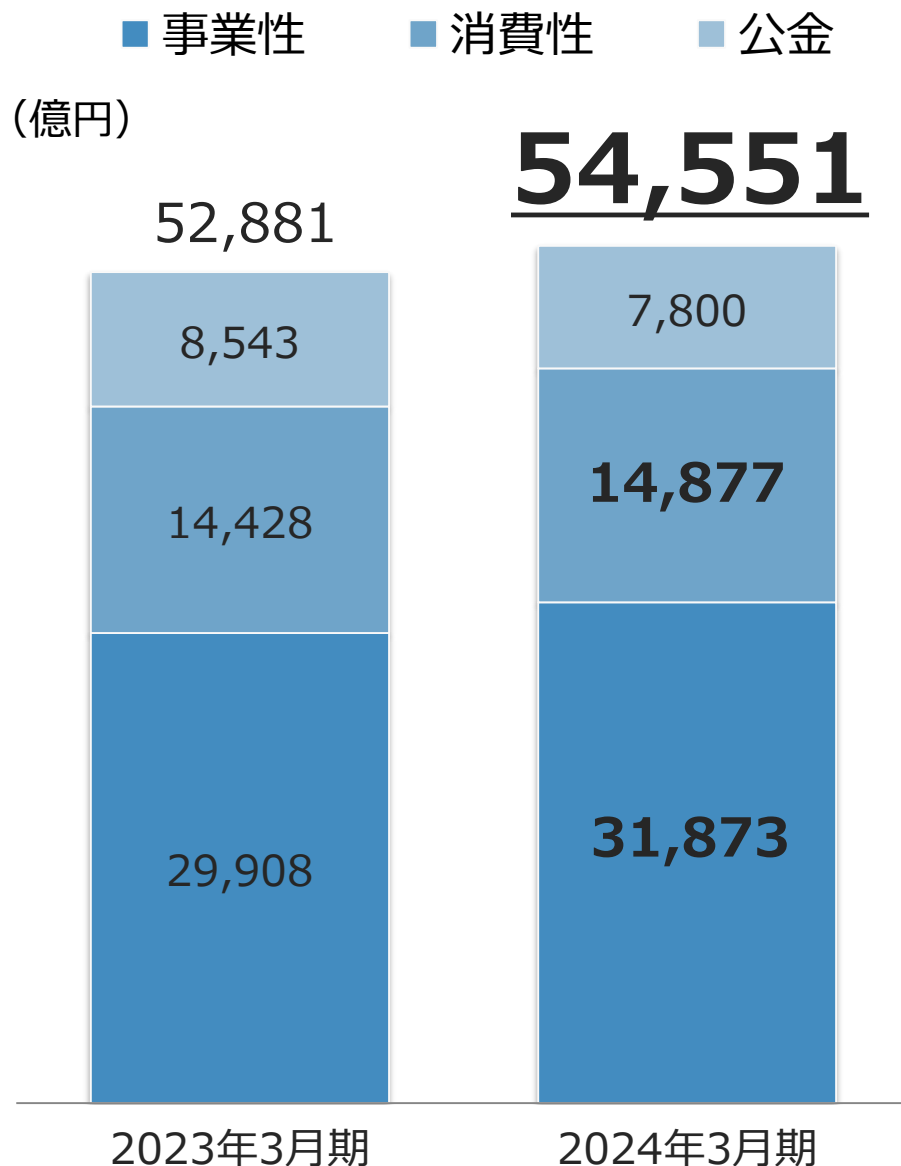
FG連結 増減要因

銀行単体、グループ会社部門のいずれも増益となり
FG連結当期純利益は増益



貸出金利息や非金利収益の増強などにより 銀行単体の当期純利益は増益





**前年比 + 1,670億円
(+ 3.1%)**

消費性

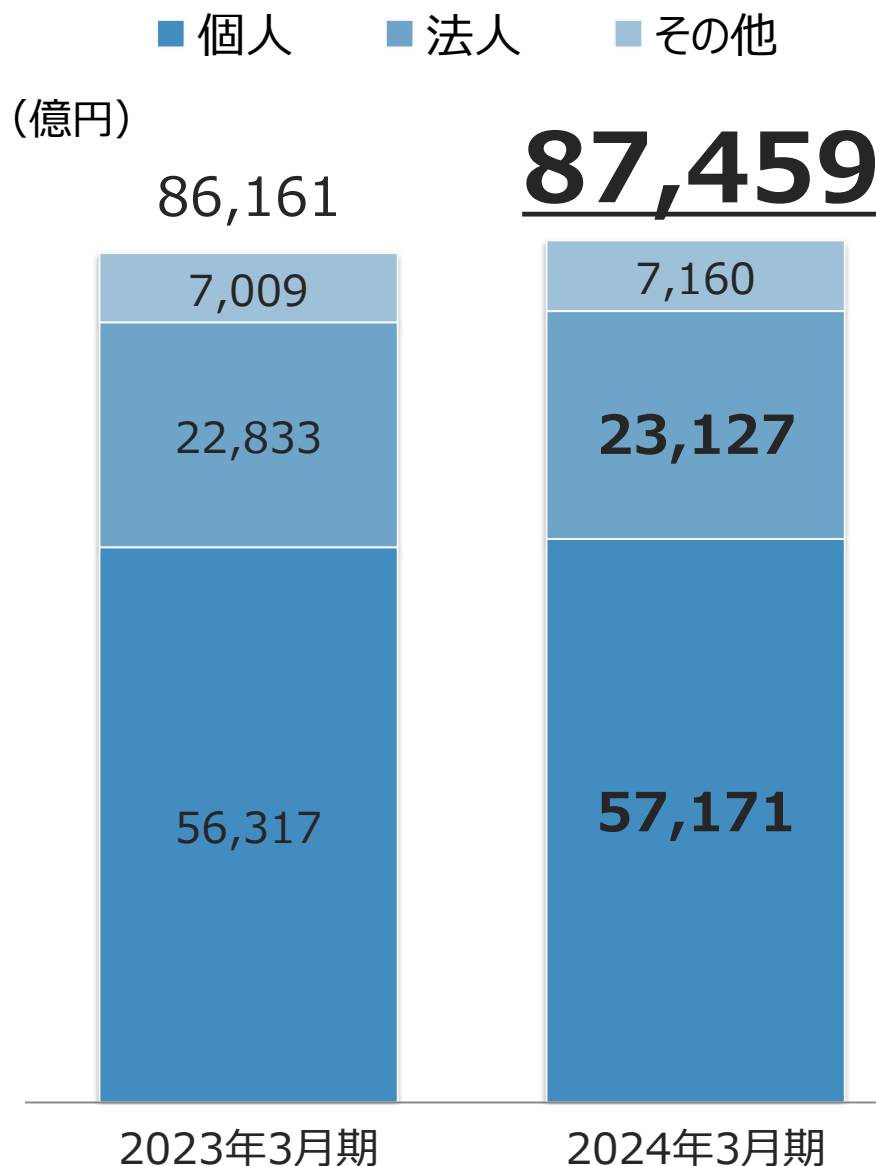
前年比 + 448億円 (+ 3.1%)

- 非対面チャネルの活用などにより住宅ローン・無担保ローンともに増加

事業性

前年比 + 1,964億円 (+ 6.5%)

- 県内は実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）の繰り上げ返済などを要因に減少
- 県外は資金需要のある大企業向けなどが増加



前年比 + 1,298億円
(+ 1.5%)

法人

前年比 + 293億円 (+ 1.2%)

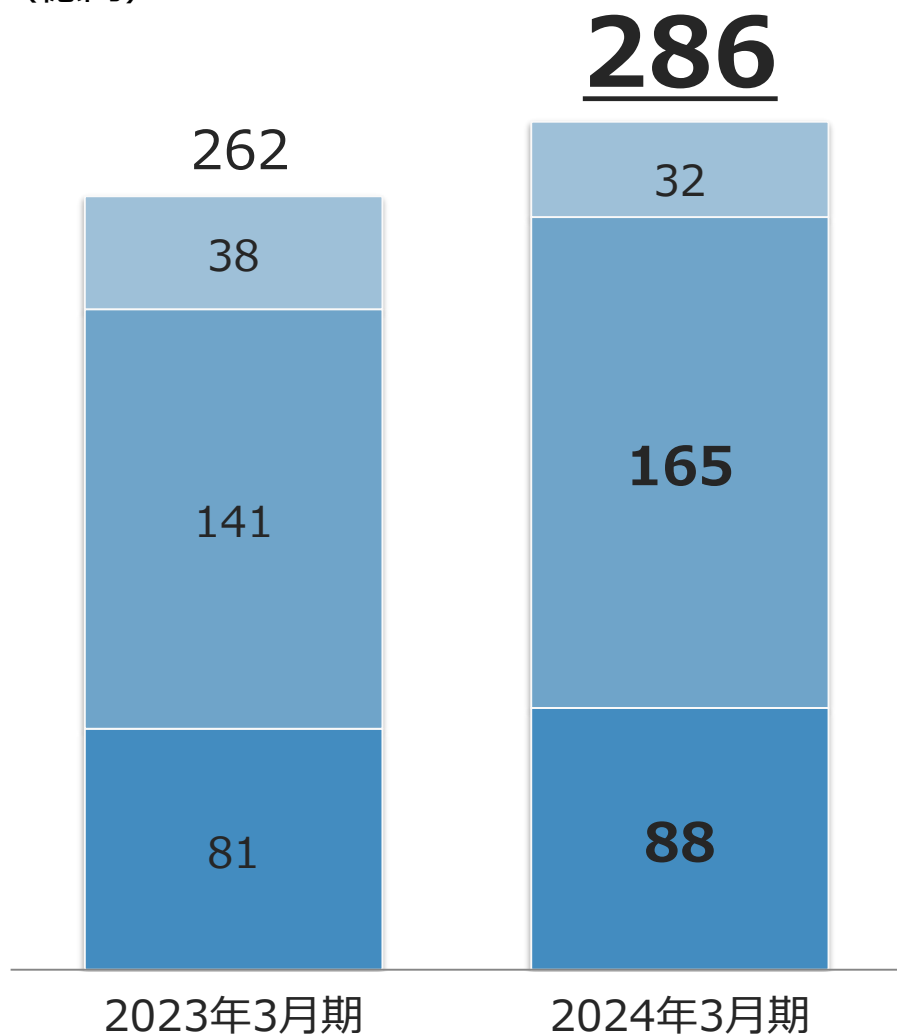
個人

前年比 + 853億円 (+ 1.5%)

－ 譲渡性預金を含めた預金等残高は
法人・個人ともに順調に増加

■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

(億円)



前年比

+24億円
(+9.1%)

金融ソリューション収益

前年比+23億円 (+16.6%)

-お客さま向けの為替デリバティブ取引や事業
承継・M&Aが増加

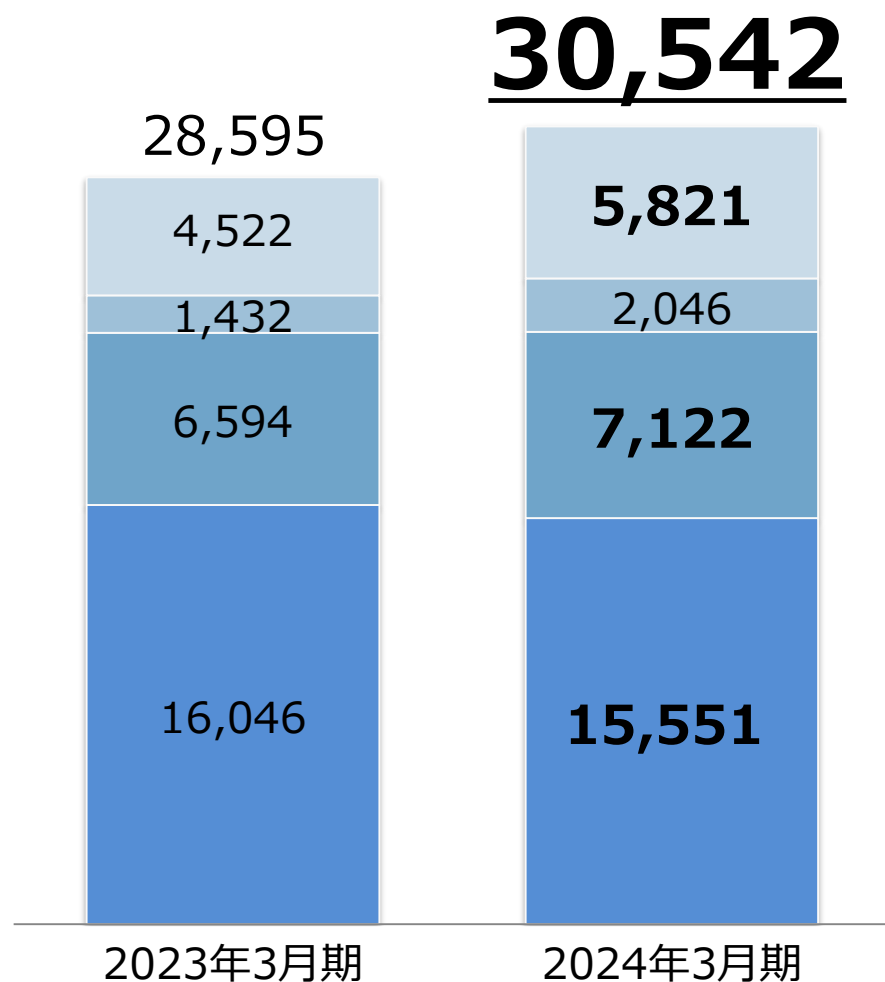
資産運用アドバイス収益

前年比+6億円 (+8.2%)

-保険や投資信託のほか、遺言信託等の相続
業務が増加

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



前年比 + 1,946億円
(+ 6.8%)

その他証券

前年比 + 1,299億円 (+ 28.7%)

- 株式投信やREIT等への分散投資を進めたことにより増加

外国証券

前年比 + 527億円 (+ 7.9%)

- 利ざやを確保できるジニーメイ債の購入や為替（円安）要因により増加

国内債券

前年比 ▲ 494億円 (▲ 3.0%)

- 金利上昇に備えて債券の購入を抑制したほかマーケット動向を捉えた利益確定売却を実施したことなどから減少

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)

577

1,077

その他証券 0

▲ 210

496

▲ 155

▲ 326

▲ 224

▲ 274

▲ 225

2023年3月期

2024年3月期

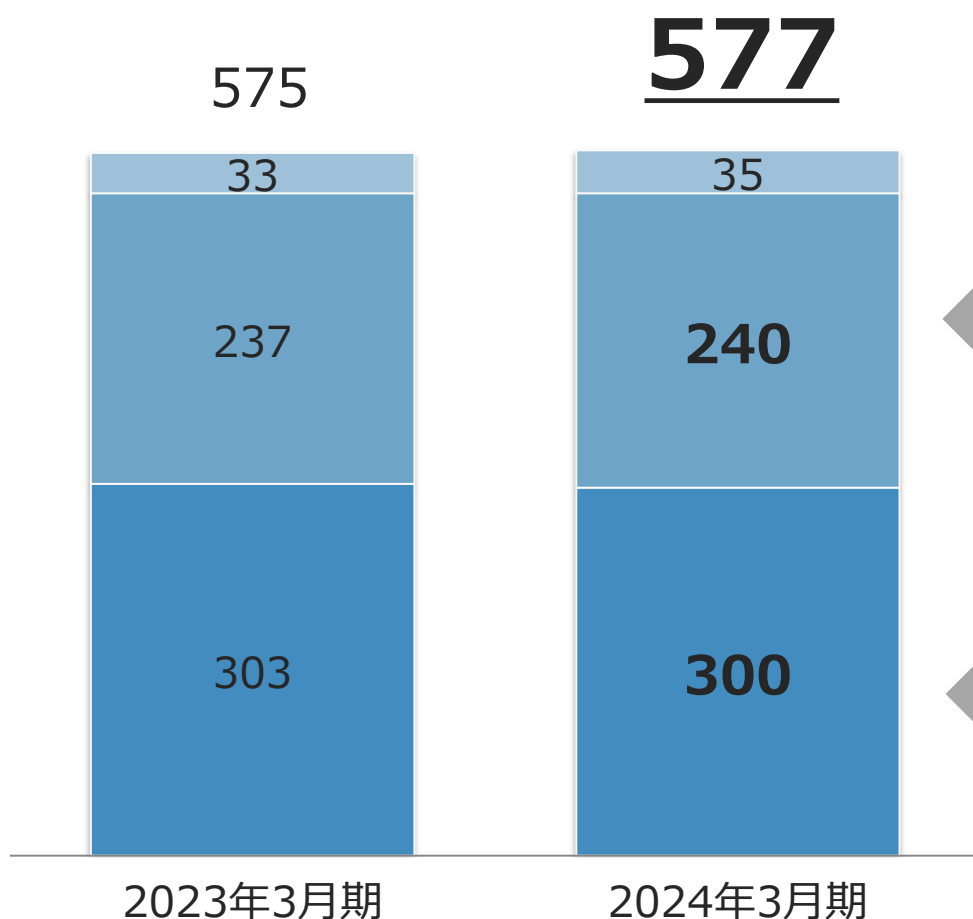
有価証券評価損益

前年比 + 788億円

- 国内金利の上昇により国内債券の評価損益が悪化したものの、国内株価の上昇により株式の評価益が増加。また、円安の進行等により、その他証券の評価損益が改善したほか、低利ざやのユーロ建債券の売却を進めたことにより、外国証券の評価損益も改善したことから、有価証券全体の評価損益は大幅に改善

■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金

(億円)



前年比

+ 2億円
(+ 0.4%)

物件費

前年比 + 2億円 (+ 1.2%)

－コンサルティング機能の強化やお客さまの利便性向上に向けた戦略的投資が増加

人件費

前年比 ▲ 2億円 (▲ 0.8%)

- －人的資本の強化に向けた賃上げや人財育成への投資を実施
- －店舗統合や業務改革による業務量減少に合わせた人員数の適正化などにより減少(定年退職等による自然減)

■ 不良債権比率 ■ ネット信用コスト

(%)

2.32

2.22

不良債権比率

前年比▲0.10pt

(億円)

41

57

ネット信用コスト

前年比＋16億円

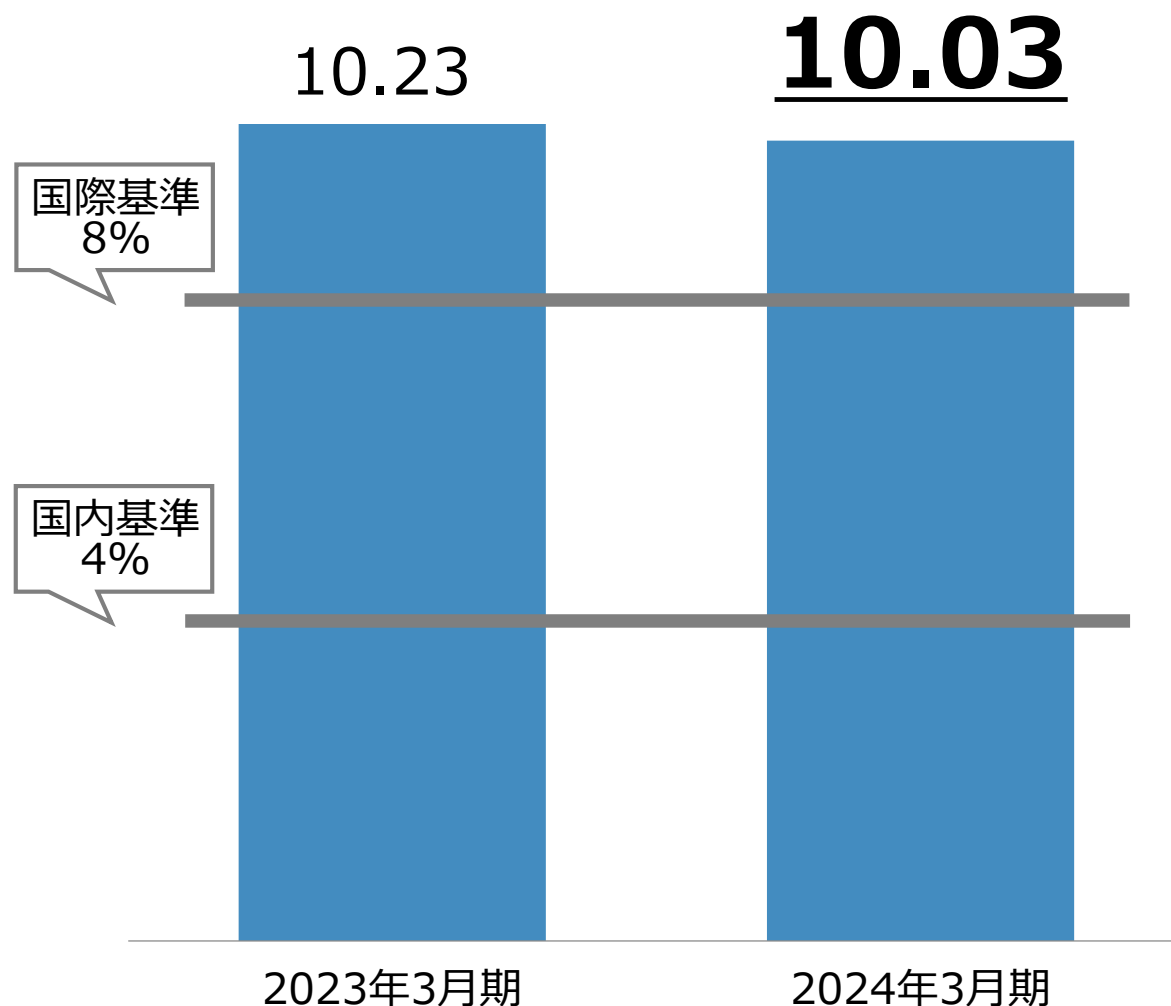
2023年3月期

2024年3月期

- － 貸出金残高の増加等による一般貸倒引当金の増加を主因にネット信用コストは増加
- － 物価高や円安などによる影響を注視し、営業部門と審査部門が連携した経営改善・事業再生支援に引き続き注力する

FG連結自己資本比率

FG連結 (%)



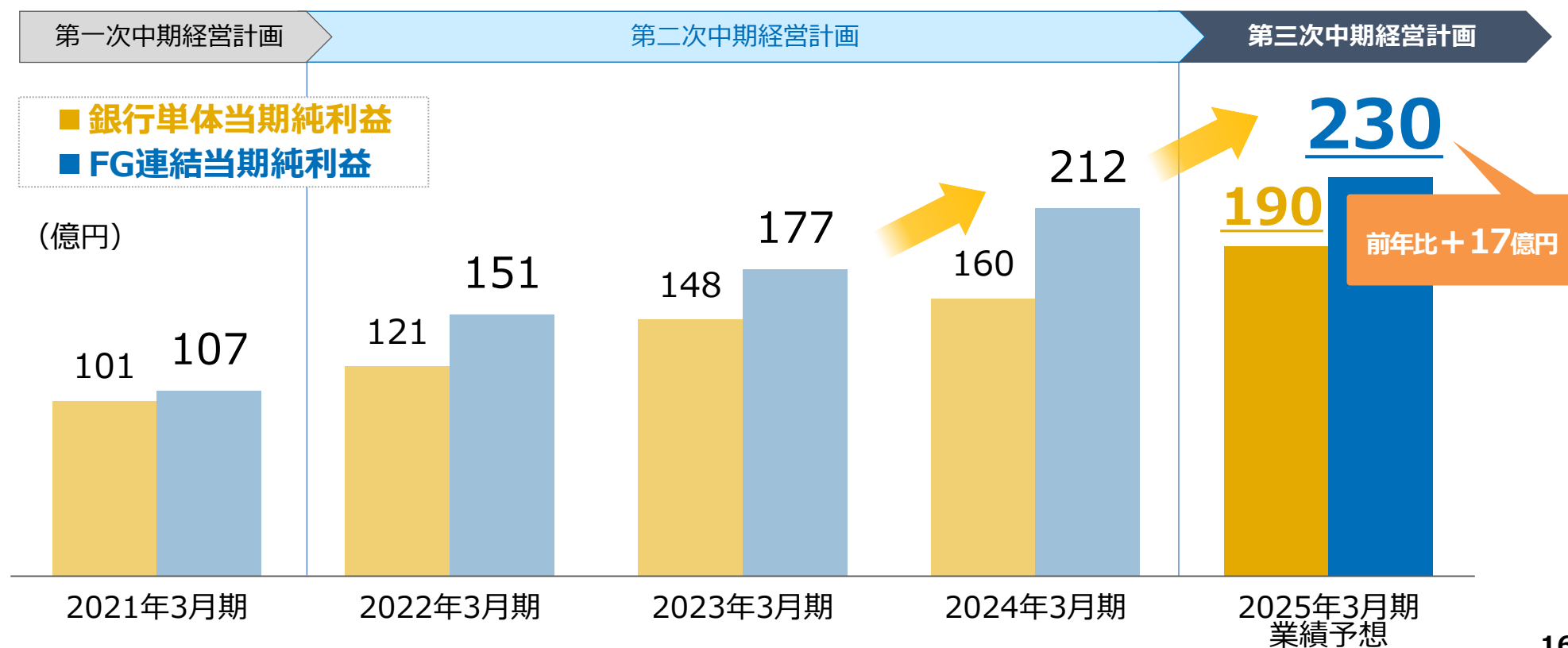
前年比

▲0.20pt

- － FG連結での自己資本比率は国内基準である4%、国際基準である8%を上回る十分な水準を確保

2025年3月期 業績予想

- **FG連結当期純利益は前年比+17億円（同+8.4%）増益の230億円を見込む**
- 新・中期経営計画「第三次中期経営計画」のもと「グループ経営の深化・探索」に取り組むとともに、当社グループが有する金融・情報仲介機能やネットワーク、ノウハウを融合させ、地域・お客さまを起点としたグループコンサルティング機能の強化によりトップラインを増強する
- なお、本計画には日本銀行による金融政策変更の影響は織り込んでおりません。今後の金融政策やマーケット環境等を見極めながら、必要に応じて計画の見直しを行う方針です



2024年3月期 配当金（期末配当の増配）

普通配当と記念配当の合計で

1株当たり年間配当金は**145円**（前年比+25円）

普通配当

株主還元方針に基づき当期の業績を踏まえ年間15円の増配

記念配当

FG設立5周年、銀行創立150周年を踏まえ年間10円を配当
※2024年3月期の記念配当を2025年3月期は普通配当とすることを公表済

配当の内容	1株当たり年間配当金			
	中間配当金 【実施済】	期末配当金		年間合計
		直近の配当予想 (2023年5月12日公表)	決定額	
2024年3月期	70円00銭	70円00銭	75円00銭	145円00銭 (前年比+25円)
普通配当	65円00銭	65円00銭	70円00銭	135円00銭
記念配当	5円00銭	5円00銭	5円00銭	10円00銭
2023年3月期	60円00銭	60円00銭	60円00銭	120円00銭

New!
期末配当は当期の業績を鑑み
予想からさらに**5円増配**

株主還元方針の変更および2025年3月期配当予想

1株当たり配当金は原則として**累進的**とし

配当性向は第三次中期経営計画期間（2024～2026年度）中に**35%程度**を目指す

第四北越フィナンシャルグループ 株主還元方針（2024年5月変更）

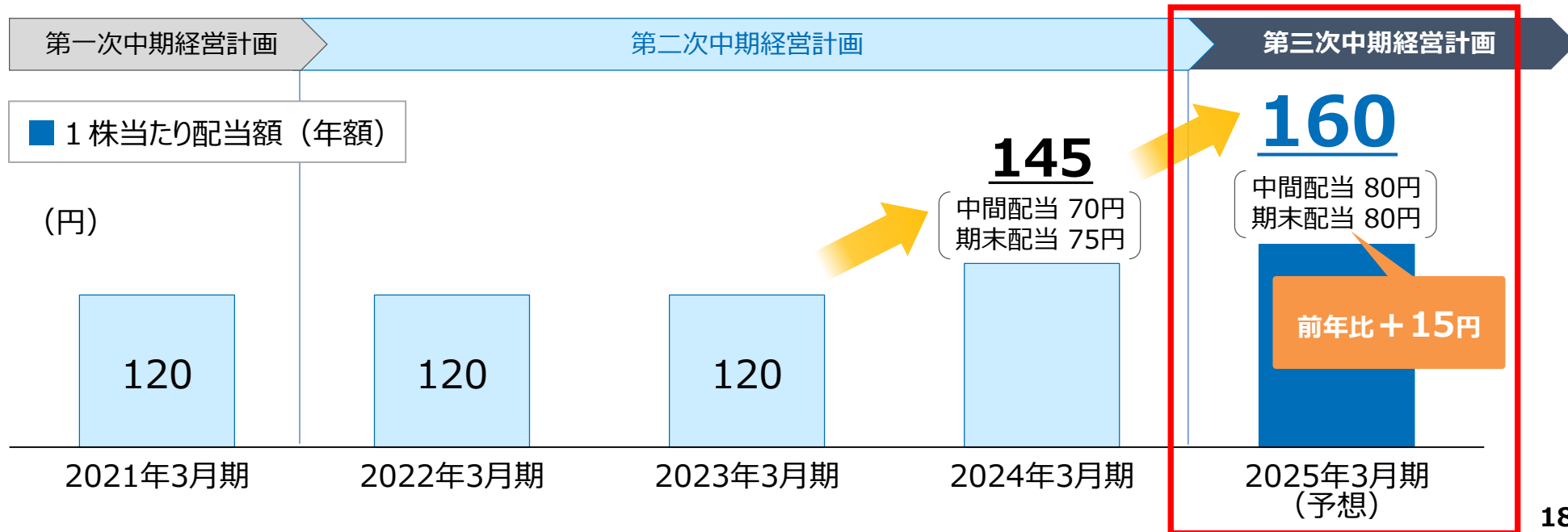
New!

金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

変更

具体的には、配当金と自己株式取得合計の株主還元率40%を目処としつつ、1株当たり配当金は原則として累進的とし、配当性向は、第三次中期経営計画期間（2024～2026年度）中に35%程度とすることを目指します。

なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に5%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。



政策保有株式の縮減目標の上方修正

政策保有株式の縮減目標の上方修正 (2021年3月末比)

変更前

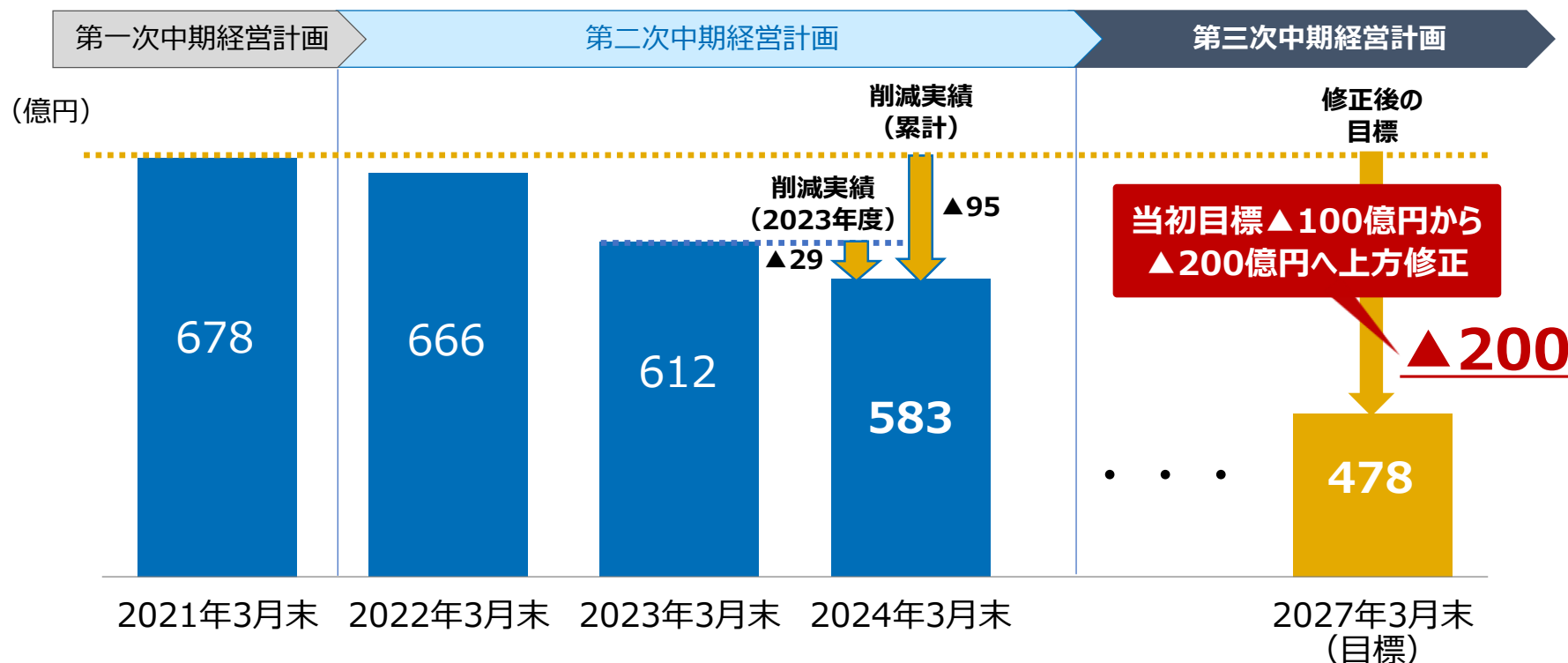
2026年3月末迄に
▲100億円（簿価）縮減



変更後

2027年3月末迄に
▲200億円（簿価）縮減

政策保有株式の簿価の推移  第四北越銀行





DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

**第四北越フィナンシャルグループ
経営企画部**

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。